

庁舎建設通信 vol. 02



第4回庁舎整備検討委員会を開催

5月24日に第4回の庁舎整備検討委員会を行いました。現在検討中の基本設計案の説明に続いて、多目的スペースで実際にできる活動について、「誰が」「どうやってやるか」など町の未来を創造しながらワークショップ形式で話し合いました。

野菜、お菓子、アクセサリー、お弁当などの販売場所としての活用や待ち合わせ、談話など気軽に利用できる場所として、人のつながりを通した、まちの賑わいづくりについて活発な意見が交換され、前向きなグループ発表がされました。

今後の予定として、伺ったご意見をもとに9月末までに基本設計案をまとめ、町民のみなさんにお示しする予定です。



新庁舎の模型を見て意見交換する委員のみなさん

長野県大桑村新庁舎を視察

5月27日に町議会議員、町担当職員、設計事務所職員17名で、今年5月6日に開庁したばかりの長野県大桑村の新庁舎を見学しました。

鉄筋コンクリート造の2階建ての庁舎ですが、内装には村有林の桧がふんだんに使っており、木造かと思うくらい桧のいい香りがしました。

本町の新庁舎は浸水対策の関係で、1階は鉄筋コンクリート造とし、2階は白川町産の桧などを柱や梁に使用する木造で建築する予定です。東濃桧の美しい色、香り、温かみの感じられる白川の木にこだわった庁舎にしたいと考えています。



大桑村役場 窓口カウンター

【お問い合わせ】 総務課財政係 内線 216